

青少年のための科学の祭典 — 2019おもしろ科学まつり — 和歌山大会

【出展募集要項】

出展申込〆切：9月2日（月）

2019年11月16日（土）、17日（日）に「青少年のための科学の祭典 — 2019おもしろ科学まつり — 和歌山大会」を開催するにあたり、出展者の皆さまを下記の通り、広く募集致します。

昨年度は、「イオンモール和歌山」を会場にお借りして開催し、多数のお客様にご来場をいただくことができました（2日間6,200人）。多くの皆さまからご好評であったことがアンケートからも確認することができます。一方で、「アカデミックな環境を大切にしてほしい。」というご意見も寄せられ、実行委員会で熟考した結果、今年度は和歌山大学のキャンパスにメイン会場を戻して開催することになりました。

これまでも皆さまにお願いしてきましたが、地元和歌山の将来を担うのに必要な人材を育てることが「おもしろ科学まつり」のミッションです。出展者の皆さまには、私たち実行委員とともに、地域・社会、そして「おもしろ科学まつり」を創る側の人間として、積極的にご協力をいただきますように、お願いを申し上げます。

そして、和歌山の科学や技術、文化等の魅力を大々的に発信するため、「おもしろ科学まつり」では、企業や行政、諸団体の皆さまからのご参加を歓迎しています。皆さまが日常的に扱っている技術や伝統等が、若い世代にとっては、新しい発見となることがあります。奮ってご参加をご検討くださいますと幸いです。

また、「おもしろ科学まつり」には、本会の趣旨に沿った魅力的な出展を「和歌山おもしろ科学大賞」として表彰する制度がございます。受賞を目指し、学校や企業、クラブ・サークル等の活動や成果の発表の機会としてご活用いただくことを期待しております。

出展をお申しいただく際には、大変なお手数をおかけいたしますが、本要項の熟読を大前提としてお願いしております（※ルールを外れる場合、ご出展をお断りすることがございます）。以前からご参加の皆さまは、新たな工夫の追加、従来からの見直しもご検討いただけますと幸いです。

出展について、ご不明な点やご相談等は、遠慮なく、実行委員会までお知らせください。皆さまからのお申し込みをお待ちしております。

1. 出展内容の方針

2000年からはじまった「おもしろ科学まつり」は、長い歴史を有する和歌山で最大規模の科学教育のイベントであり、子どもたちが科学を体験し、知ることができる機会を与えるための「お祭り」です。私たちが言う「科学」は、狭義の意味ではなく、自然科学及び人文科学、社会科学等の広い領域を含んでいます。つまり、いわゆる「文系」の領域も本大会においては対象となり得ます。

また、地元である和歌山の科学・技術・文化が高いレベルにあることを来場者が実感することができるように、実行委員会では、和歌山オリジナルのコンテンツの強化を考えております。

以上の方針を踏まえた上で、下記のような趣旨に沿ったご出展を皆さまにお願いしています。

- (1) 和歌山の科学・技術を知ることができるもの
- (2) 最先端を知ることができるもの
- (3) 科学的な内容で、子どもたちが楽しめるもの
- (4) 科学的な内容で、意外性に富んだもの
- (5) 子どもたちに科学の感動を与えるもの
- (6) 身体で科学を実感できるもの
- (7) モノづくりの楽しさを実感できるもの
- (8) 学校での取り組みや学校教材等で魅力的なもの

※ 例年、多くのお客様をお迎えしておりますが、人数制限のために参加できないブースがあり、残念だったというご意見をいただいております。そのような声に対してご配慮をいただき、より多くのお客様にご覧いただけるような展示の方法、ステージショーの導入等のご検討をお願いします。

2. 開催概要

日時：2019年11月16日（土）、17日（日）10:00～16:00

場所：和歌山大学 栄谷キャンパス（〒640-8510 和歌山市栄谷 930）

※ 本年度は、「基礎教育棟」、「経済学部講義棟（1,2階）」、「大学会館（食堂）」を会場として展開する予定です（「教育学部棟」は和歌山大学からの出展で利用の予定）。

※ **従来から開催時間が変更になり、2日間とも10:00～16:00となっています。**

※ 出展者からの希望が集まった場合、イオンモール和歌山にサテライト会場の設置を検討します。

3. 申し込み形態

お申し込み形態には、「一般」「企業・団体」「和大大関係」の3分類があります。以下の説明をご参照いただき、皆さまのご所属等に沿ってお申し込み時にご選択ください。

なお、**2日間通してのご出展が原則となります。**過去に回収した来場者アンケートの結果（満足度）などを分析した上でのお願いとなります。土日のどちらかに1日のみの出展は、お断りすることがあります。あらかじめ、ご了承をお願い致します。

(a) 「一般」

- 一般の有志の皆さま（個人・非営利団体、学校等）からのお申し込みを対象とします。
- 担当者（および補助者）の交通費と謝金、出展のための開発、材料購入、搬入搬出運賃などに充てることができる補助金（現金）として、1つの出展あたり15,000円を当日の窓口でお渡しします。金額的には些少となりますが、本会の意義をご理解の上、ご協力のほどお願い申し上げます。
- 複数のご出展をお申込みいただいた場合、お申込み内容を確認させていただき、実行委員会の判断により、1つのご出展としてまとめさせていただくことがございます。
- 学生や児童、生徒らが出展者として参加することは良い経験となり、教育的に高い意義を有します。実行委員会でも奨励をします。ただし、高校生以下・未成年者の出展参加については、必ず、教員、保護者又は団体等で責任を有する指導者の指導・引率の下で行うようにしてください。

(b) 「企業・団体」

- 企業や行政等の団体からのお申し込みを対象とします。
- 教育及び社会貢献活動の観点から、皆さまの技術や活動等に関連した内容の出展をお願い致します。**営業行為及び営利目的に偏った内容のご出展はご遠慮いただきますように、ご配慮をお願い致します。**
- 上記の「一般」とは異なり、実行委員会からの補助金のお支払いはありません。
- 他の条件は、「一般」と同じになります。

(c) 「和大大関係」

- 和歌山大学にご所属の教職員、研究室やゼミ、協働教育センター（クリエ）の学生プロジェクト等からのお申し込みを対象とします。
- 出展のための開発、材料購入などに充てることができる物品費として、上限15,000円を協働教育センター（クリエ）から学内予算配分いたします。予算配分には申請が必要となり、複数の出展をお申込みいただいた場合でも、1団体の申請上限は合計で15,000円となります。
- 過去に開催していましたが「公開体験学習会」との統合により、2017年度より、和歌山大学は「おもしろ科学まつり」の主催団体となっています。学内関係者の皆さまには、引き続き、ご協力をよろしくお願い致します。

4. 出展形態

出展形態には、「基本ブース」「講演・ステージ」「屋外実験」「その他」の4分類があります。以下の説明をご参照いただき、皆さまのご希望等に沿ってお申し込み時にご選択ください。

なお、本番1カ月程度前に「出展者説明会」を開催し、会場（和歌山大学）を直接ご確認ください。機会を設定いたしますが、リクエストは遅くなるほど対応が難しくなります。**些細な事でもご要望がある際には、現時点で、備考欄に必ずご記入ください。**

(a) 「基本ブース」

- 演示を中心に、ブースを出し、訪れる人に随時実験・観察などを披露する形態の出展です。「おもしろ科学まつり」の基本的な出展形態になります。
- 実験を体験してもらえそうなブースや、工作をするブースであっても、人数制限や予約は行わずに、短時間でできる内容を順番に体験してもらえるように工夫をしてください。
- 基本ブースには、大学内の教室を区分けし、複数の基本ブースで共有して使用します。ブースで使用する教室には、大教室（階段状になった教室）も含まれます。**大教室は、机が固定であり、また、机の天板が水平にはなっておりませんのでご注意ください。**
- **特別に広いスペースが必要な場合、上記の大教室が不可の場合、机や椅子に特別な要望がある場合（例：水平な机が必須等）等は、お申し込み時にリクエストの内容を「備考欄」にご記入ください。後からの追加リクエストには対応することができません。**
- 各ブースは、説明員や誘導員を含めて、2～4名以上でご参加ください。特に、混雑緩和のためにも、誘導員の配置は、必須であるとお考えください。

(b) 「講演・ステージ」

- 講演会やサイエンスショーなど、一度に大人数のお客様を対象とする形態の出展です。大人数が着席できる大教室を優先的に割り当てます。
- 1回のご講演やショーは、**30分程度の短時間**とし、できる限り多く、複数回開催するようにしてください。各回の内容は、異なっても、同じでも構いません。
- 1回を30分程度に限定することは、子どもたちの集中力を維持する上で必要だと考えます。また、他のご出展に対する配慮としても重要です。お申し込み時の「備考欄」に、現在の計画で構いませんので、開催希望時間・1回の所要時間・開催頻度等をご記入ください。
- 教室に備え付けの机や椅子は固定されており、原則として移動できません。また、教室のプロジェクタ、スクリーン、マイク等の音響設備の利用を希望する場合には、「備考欄」にその旨をご記入ください。

(c) 「屋外実験」

- 建物内ではなく、屋外で出展する形態です。会場として利用する建物の周辺で出展をしていただけます。
- お申し込み時の「備考欄」には、現在お考えの計画で構いませんので、希望する場所、条件等をご記入ください。
- 例外的な出展形態であり、安全の確認等を含め、当日までに、実行委員会及び和歌山大学職員との打ち合わせが何度か必要となります。
- 打ち合わせには、和歌山大学職員の立ち合いを要しますが、事前にアポイントメントが必要です。余裕をもって、スケジュールの調整ができるように、ご配慮をお願いします。また、打ち合わせに必要な旅費等の費用は、各自でご負担をしていただいております。

(d) 「その他」

- 上記以外の出展形態で、「1. 出展内容の方針」に沿った出展をご提案いただける際、「その他」としてお申し込みください。その際、お申し込み時の「備考欄」に、具体的に、出展内容の詳細をご記入ください。
- 実行委員会としては、皆さまからのご提案に対して、柔軟に対応できるように努力を致します。お申し込みをいただく前に、ご相談をいただけますとスムーズに対応できますので、まずは、お時間に余裕を持って、電子メール等で実行委員会までお知らせください。

5. 【2019年度変更！】ガイドブック（ウェブ版）の入稿について

本会では、実験や観察、工作等の説明を分かりやすく解説したガイドブックを作成します。出展者の皆さまには、その原稿を9月30日（月）までにご入稿お願いいたします。

2019年度からは、印刷した冊子のガイドブックの配布は中止し、ウェブ版のガイドブックを作成することになりました。いただいた原稿を電子ファイル（PDF）で実行委員会のウェブサイトに掲載し、お客様はお手持ちのスマートフォン等からご覧いただけるようにします。

原稿は、すべてのご出展について掲載する予定です。出展者の皆さまには、原稿がインターネットを通じて公開されることに、ご注意とご了承をお願いいたします。**特に、著作権は順守してください。**また、冊子の際は、白黒印刷でしたが、ウェブ版となったことで**カラーの図表を使用することができるようになります。**

ガイドブックの執筆や入稿方法の詳細は、後日、ご担当者様に電子メールでお知らせします。

※ 上記のガイドブック（ウェブ版）とは別に、印刷した会場マップは、当日の受付でご来場にお客様に配布いたします。その会場マップの中にガイドブック（ウェブ版）のアドレス（QRコード、2次元バーコード）を埋め込むことで、スマートフォンからは簡単にガイドブック（ウェブ版）にアクセスできるようにいたします。

6. 「和歌山おもしろ科学大賞」について

本会の趣旨に沿った、特に魅力的な出展を選奨する「和歌山おもしろ科学大賞」を2017年度より新設いたしました。本会の1日目に実行委員会の審査員が、エントリーしていただいた出展を拝見し、審査いたします。2日目の昼頃に、表彰式を開催し、審査結果を広く周知いたします。表彰式では、賞状と副賞を授与し、榮譽を称えます。

対象となるのは、現時点の出展の申し込み時に、審査を希望した出展のみになります。希望する場合は、申込の際、忘れないようにチェックしてください。また、何らかの事情で拝見することができない出展は、審査の対象から除外します。事前に提出のあったガイドブックの内容も評価対象とし、予備審査の結果、当日の審査対象から除外することがあります。

すべての出展がエントリーすることができますが、学生や児童、生徒らによる活動を奨励するために、出展者の構成を審査で考慮することがありますので、ご了承ください。

7. その他・注意事項

- 会場の制限等から、出展お申込みが多数となった場合には、やむを得ず、ご出展をお断りすることがございます。出展のお申込みは、お早めをお願い致します。
- 出展内容については、できる限り、皆さまのご希望のままとさせていただきますが、（1）出展内容が重複、特定の分野に極端に集中している場合（2）明らかに危険と思われる場合（3）特殊な設営や機材調達が必要な場合等には、調整をさせていただくことがあります。
- 前述の「1. 出展内容の方針」から外れた内容の出展（政治的活動、宗教活動、反社会的行為、営業行為等）は、禁止させていただきます。場合によっては、実行委員会の判断で、当日でもご出展をお断りすることがあります。
- 当日の会場内は、かなりの混雑が予想されます。また、長時間に渡って、何度も演示する必要があります。ご負担をお願いすることになりますが、出展者の皆さまには、私たち実行委員会と一緒に、本会を創る側の人間であるという認識をご共有ください。お客様と出展者の皆さまの双方に、気持ちよく参加していただくためにも、工夫とご配慮をお願い致します。特に、不用意で、案内が不足している「予約」「人数制限」「時間制限」等は、お客様に混乱を招き、クレームの原因となります。実行委員会で、ブース運営のご助言をすることもできますので、ご相談等は遠慮なくお知らせください。
- 出展の安全性には十分に配慮をしてください。事故が起こらないように、安全第一でお願いします。また、お客様にお持ち帰りいただくものは、安全で一般ゴミとして捨てられるものにしてください。
- 出展者の皆さまにお弁当等の配布はいたしません。お食事には、大学生協の食堂をご利用いただける予定です。

8. イオンモール和歌山サテライト会場について

2018年度にイオンモール和歌山を会場に実施した本大会は、皆さまのご協力もあり、大きな成功だったと実行委員会では考えております。一方で、冒頭の通り、大学という普段は足を踏み入れないアカデミックな環境で実施してほしい、というお客様からのご意見が多かったのも事実です。

実行委員会では、本年度の和歌山大学キャンパスでの開催を決定いたしました。一部の出展者の皆さまからは、イオンモール和歌山で出展をしてみたい、というお声もいただいています。

そこで、改めて、皆さまのご希望を聞き、ある程度のご要望が集まったときは、イオンモール和歌山の担当者さまとご相談し、サテライト会場を設置することを検討したいと思っております。現時点では、「3階イオンホール」を使用することを基本と想定しています。

イオンモール和歌山サテライト会場での出展を希望される場合は、**出展申し込みの備考欄に「イオンモール和歌山での出展希望」の旨をご記入ください。**また、その他のご要望があるときは、具体的に備考欄にご記入ください（なにもご希望がない場合は、和歌山大学のメイン会場での出展となります）。**ただし、ご記入いただいたとしても、ご希望に添えないこともあります。ご了承をお願い致します。**

また、出展の際は、イオンモール和歌山の諸ルールに従っていただく必要がございます。ルール等の詳細が必要なときは、実行委員会までお問合せください。

2018年度は行政から補助金をいただきましたが、イオンモール和歌山をお借りした開催は、かなり大きな挑戦となります。皆さまからの協賛金を頼りにした運営において、難しいこともございます。ご理解をいただきますよう、お願いを申し上げます（なお、協賛のご協力は、別途、募集しております。財政面からも本大会へのご協力をご検討いただけますと幸いです）。

9. 出展申し込み方法

次の実行委員会のウェブサイトからお申し込みをお願いします。**郵送や電話、FAX等の他の手段では受付を行っていません。**本要項の説明を良く読み、ご理解いただいてからお申込みください。

<https://www.kagaku-wakayama.com/omoshiro2019/>

申込み〆切：9月2日（月）

<問い合わせ先>

※お問い合わせは、できる限り、下記アドレス宛に電子メールでお願い致します。

青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会（担当教員：西村 竜一）
〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 協働教育センター（クリエ）内

E-mail **omoshiro2019@kagaku-wakayama.com**